

## 普及現地情報

発信年月日：令和元年(2019年)9月17日  
所属名：湖北農産普及課  
番号：G190018  
部門分類：160(果樹)  
発信者名：國島、西堀

### 平核無柿‘<sup>ひらたねなし</sup>霊峰’の樹上脱渋処理研修会を開催

9月10日、JAレーク伊吹資材センターの集荷場において、平核無柿<sup>ひらたねなし</sup>の樹上脱渋処理研修会を開催したところ、生産者24名が出席されました。

‘<sup>れいほう</sup>霊峰’は伊吹果樹組合(米原市)が樹上脱渋処理を行った平核無柿のうち、特に品質の優れたものに付けるブランド名で、平成29年から生産されています。

今回の研修は、集荷場にて樹上脱渋処理の方法について資料で説明を行い、満開日から110日後にあたる、9月14日(土)を目途に処理を行うこと、収穫時に2L(235g~269g)以上になると見込まれるものに処理すること、袋かけ後2日間はできるだけ降雨がない日を選ぶこと、処理する果実は1樹のうち3分の1から2分の1程度にとどめることを説明しました。

その後、現地ほ場へ移動し、今年はじめて処理される方を含めた10名で実際に袋掛けを実践しました。参加者からは、どの果実なら2L以上のサイズになりそうか、上向きの果実に処理をしてもよいか、など熱心に質問が出されました。

当課では、引き続き‘<sup>れいほう</sup>霊峰’の品質・収量向上に向けた支援を行います。



集荷場での説明



現地での質疑応答